

ビジネスモデル展開へ

りそな中小企業振興財団と日刊工業新聞社共催の「第30回中小企業優秀新技術・新製品賞」の授賞式が4月17日、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで行われた。同賞は中小企業の技術振興を図り、日本の産業発展に寄与することを目的に1988年に創設された。今回は一般部門、ソフトウェア部門を合わせて327件の応募があり、厳正な審査の結果、38件が入賞した。受賞企業5社のトップに今回受賞した技術・製品の特徴、今後の事業展開、経営理念について語ってもらった。

開発のポイント

放送網強靱化に照準

榆 氏

お客さま目線で開発

佐藤氏

人の皮膚構造を再現

杉村氏



榆 氏

井水 皆さま、このたびは受賞おめでとうございます。まず会社の特色や強み、それから今回受賞された製品、技術について開発のポイント、苦労された点などをお話していただきます。最初に中小企業庁長官賞を受賞された榆社長からお願いいたします。

榆 当社はテレビ放送施設用機器を手がけています。1949年に創業し、一般無線通信機用測定器からスタートしましたが、2006年に地上デジタル放送用中継送信機に軸足を移しました。

その後、山口放送様から打診を受けたのがきっかけで、このような30万円も払えないようなものに30万円も払えないようなものを作りたいという思いを強くしました。

でFM同期放送システムに取り組みました。東日本大震災後、政府が打ち出した国土強靱化に「放送ネットワークの強靱化」が盛り込まれたことも取り組みを決める動機となりました。今回受賞をいただいた「高精度デジタル方式FM同期放送送信機」は、変調器の信号をすべて高精度デジタル処理することで、周波数差や変調度差、遅延時間差などによる干渉や音質低下を克服しました。

佐藤 当社は地震の揺れや風の揺れ、いろいろな動的なものを制御する技術を得意としています。開発商品の一つに「制震テープ」があります。粘弾性を両面テープ状に加工したもので、コストパフォーマンスが良く、最高級の制震技術者と技術者として自信を持っていました。しかしお客さまは「こんなガムテープのようなものに30万円も払えない」と。そこで技術者の造住宅の壁内に配するタ

ーなどの第一世代組織再生医療が社会実装され、さまざまな疾患に対する治療法の開発が進められています。さらに第三世代再生医療として器官(臓器)再生医療の基礎研究が進められ、その実現に大きく期待が高まっています。私たちは現在、第三世代再生医療における世界初の実現と産業化に向け、毛髪と歯の研究を進めています。

今回受賞した「次世代人工皮膚」は、表皮4層・真皮2層の人間の皮膚と同じ構造を再現した人工皮膚です。治療に使うのではなく、研究支援ツールとして使っていたものです。より人間の皮膚に近い構造を生かし、医薬品や化粧品

の機能評価を行います。井水 4層フラスコ構造がポイントなのですね。

出席者

日本通信機社長	榆 幸一氏
アイディールブレン社長	佐藤 孝典氏
オーガニテックノロジーズ社長	杉村 泰宏氏
田辺塗工所社長	田辺 直氏
ムラタ溶研会長	村田 彰久氏
《司会》	井水 治博
日刊工業新聞社社長	

講演刺激に製品開発

田辺氏

極薄板を端面で接合

村田氏

田辺 わたしは新潟市で塗装業を営んでいます。ある時「刺しても痛くない注射針」で有名な岡野工業所社長の岡野雅行さんの講演を拝聴してショックを受けました。岡野さんはこう言うのです。「私の話なんか聞いている暇があったら、さっさと自分の工場に戻りなさい。自分の足元に宝がいくらでもある」と。それを聞いて、私が懂っていた職人というのは岡野さんの

ような人なのだと気づきました。そして、これからは職人として生きていきたいという思いを強くしました。

村田 当社は自動溶接装置を作っています。私の若いころは重厚長大産業が盛んな時代で、造船や橋梁といった数十メートルの厚い鉄板の溶接が主流でしたが、当社は薄板の溶接に特化して技術を追求してきました。電子機器も自動車も小型化、軽量化が進んで溶接する鉄板が薄くなり、や

つと当社の技術が生かされる時代が来たかと思っています。

井水 連続成形で途切れなくラインに供給できるのは大きなメリットですね。

Nitsuki

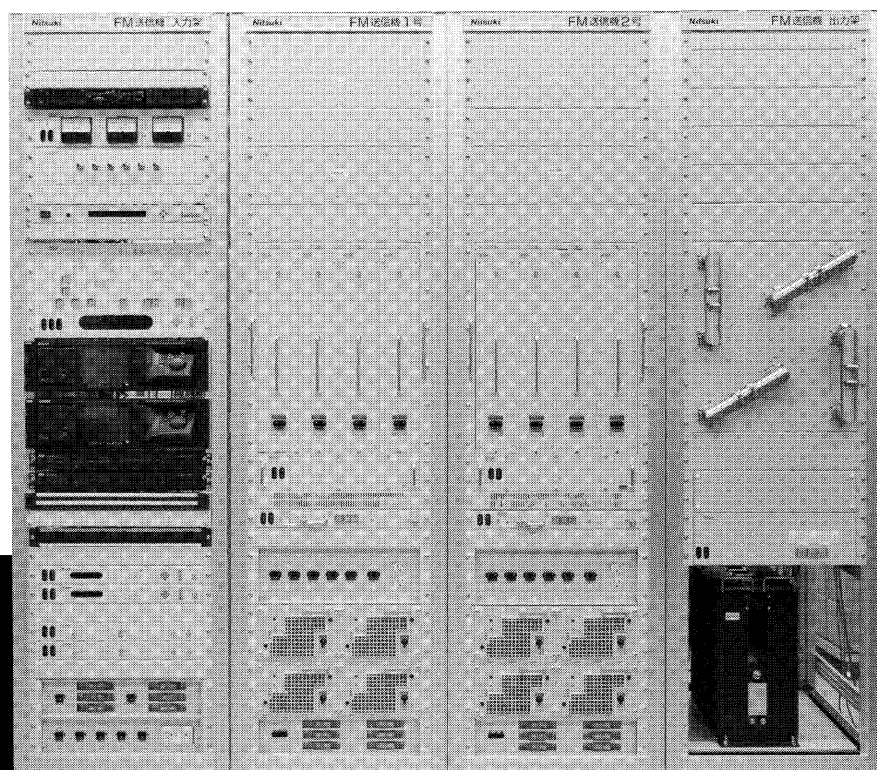
Challenge to the Best!

デジタル処理による高精度なFM放送波を生成！
同一周波数による干渉の少ない同期放送が可能！

SHP(Super High Precision)は、当社のFM同期放送製品におけるシンボルマークです。同期放送に使用される機器にこのマークが付けられています。



高精度デジタル方式
FM同期放送送信機



日本通信機株式会社
Japan Communication Equipment Co., Ltd.

本社 〒242-0018 神奈川県大和市深見西7-4-12 TEL 046-260-3150
大阪 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町22-22-202 TEL 06-6338-7263
九州 〒814-0113 福岡県福岡市城南区田島2-18-24-402 TEL 092-212-2111
URL: https://nitsuki.com/

第30回 中小企業優秀新技術・新製品賞

中小企業庁長官賞受賞